

和歌山に出会えてよかった

呉 佳維
教育学部 交換留学生 中国

出会いがあるからこそ人生が面白くなるのだと思う。和歌山に来てからいろいろなことを知り、自分の世界が広がって、能力も向上したようだ。和歌山に出会えてよかったと思う。

和歌山に来てから初めて知ったことがたくさんある。

まずは交通マナーとの出会いだ。日本で運転手は右側で、右側を走る。通行人と自転車に乗る人は左側だ。それは中国と全く逆だ。そのため、私は和歌山に来た日に出迎えをしてくれた方の車に乗る際、助手席ではなく、運転手席に座ろうとしてしまった。そして、日本の交通規則を教えてもらった。しかし、実際に自転車で通学時、よく国にいるみたいに右側を走る。しかし、自動車は非常に優しく、よく私に道を譲ってくれた。そのうえ、自動車が通行人と自転車に道を譲るということは自然のことなのだそう。本当に事故を減少できるマナーだと思う。

そして、町にゴミ箱がないということに出会った。ゴミ箱がなくても、道にゴミ箱が全くない。非常に不思議に思ったので、ネットで調べてみると、それはテロ防止のためだそう。日本人がゴミ箱のないことに納得し、ゴミを持ち帰ることが習慣になり、ないほうが町がきれいになると考えていると知った。それが日本の町がこのようにきれいな原因なのだろう。私の町は和歌山のように森や川が多いけれど、それほどきれいではないので、あまり観光地には向かない。将来、私の町もきれいな町になれば、きっと美しい観光地になると思う。

そして、静かな和歌山に出会った。和歌山は町がきれいなだけではなく、静かだ。路上にも「お静かにしてください。」という看板がよく見える。スーパーへ行っても、騒々しい感じが全くない。いい感じだ。私は静かなところが好きだ。それはお互いの配慮だと思う。人々の配慮が皆に静かな町を送った。

それから、一番驚かされたことがある。水道水がそのまま飲めるということに出会った。世界的に見ても数少ない国の一つだ。中国では水道水をそのまま飲むことはできないため、飲用に使用する場合には沸騰させる必要がある。なぜ日本の水道水がそのまま飲めるのか。なぜ日本は文句なし、安心・安全な水道水があるのか。それは日本の水の浄化技術と漏水に対する対応技術が非常に優秀だからだ。現在、水の浄化技術は海外でも使われているそう。もし、将来、中国で水道水をそのまま飲める日が来たなら、それはどんなにうれしいことだろう。

和歌山から日本の社会文化を勉強して、本当に幸せなことだ。いろいろ教えてくださって、ありがとう、和歌山。君に出会えてよかった。

(1) 日本文化入門



(2) 帰る道—静かな和歌山



(3) 東照宮—生態型の和歌山

